

心の花美術館 開館5周年記念展

# 竹久夢二 ～子どもの絵展～

2019. 4.7(日) — 5.26(日) 10時—17時 火・水曜日休館

[入館料] 一般：500円 シニア(70才以上)・障がい者：300円 学生(小学生～高校生)：150円

CAFE・SHOPコーナーは入館無料(\*期間限定 夢ニグッズを販売いたします)

たおやかな美人画で知られる竹久夢二。そのほかにも図案や装幀など幅広く才能を発揮しました。

そのなかから子どもの絵を中心とした貴重な版画を約30点を展示いたします。

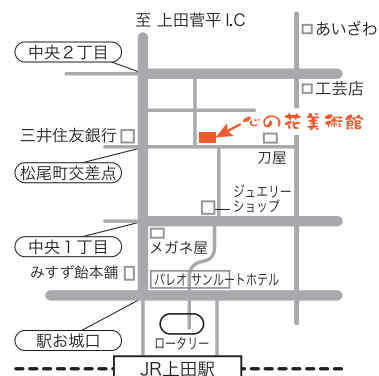
一世紀を経た作品とは思えない美しい色彩と大正ロマンあふれる世界をお楽しみ下さい。



「花の園」

## 竹久夢二略歴

明治17年 9月16日 岡山県に生まれる 実家は酒屋 本名茂次郎  
明治33年 一家で福岡へ転居 翌年家出して上京  
明治38年 「中学世界」にコマ絵「筒井筒」1等入選し「夢二」と署名する 早稲田実業学校専攻課を中退  
明治40年 岸たまきと結婚 読売新聞社入社 スケッチを掲載  
明治42年 岸さまきと協議離婚 最初の著書「夢二画集春の巻」発刊 以後多くの出版に着手  
大正 3年 日本橋呉服屋に「港屋」開店 笠井彦乃と出会う  
大正 5年 セノオ楽譜を装幀する 以後270余のセノオ楽譜装幀をする  
大正 7年 「宵待草」が出版され全国に流布  
大正 9年 「長崎十二景」完成 黒猫シリーズ制作  
大正10年 モデルのお葉と所帯を持つ 「女十題」完成  
大正12年 関東大震災により 恩地孝四郎らと企画した「どんたく図案社」実現寸前に潰滅  
大正14年 「婦人グラフ」に表紙や口絵をはじめめる アトリエ新居「少年山荘」完成、転居  
昭和 6年-7年 榛名山美術研究所建設の準備をはじめめる 外遊を決意し、アメリカへ向かう 渡欧、各地を歩く  
昭和 8年 帰港 台湾へ行くが体調を悪化させ帰国 病臥  
昭和 9年 長野県富士見療養所で永眠 雑司ヶ谷墓地に埋葬



●JR上田駅「お城口」より徒歩約5分  
※当館専用駐車場2台あり

心の花美術館▶検索 メール：info@kokohana-artmuseum.com  
〒386-0012 長野県上田市中央2-7-23 tel/fax：0268-22-0022

心の花美術館  
art collection museum